

教育指導要綱

2026年度

科目	被服構成理論 I-B	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	赤間 なぎさ
<p>【授業概要・目標】 衣服が体に合っていて着心地が良く、尚且つ着用者が美しく見える為の美的要素と機能的要素をバランスよく結びつけた衣服の造形における基礎知識の理解を深めることを目的とする。</p>							
<p>【評価方法】 出席状況、パターンメイキングにおける理解度と正確さ、提出物の出来栄等にて評価。</p>							
	指導内容						時間
1	西洋衣服の変遷						
2	衣服の分類						
3	衣服製作のプロセス						
4	用具						
5	人体と計測						
6	パターン製作の基礎（平面製図）						
7	衣服素材と付属材料						
8	裁断						
9	縫製						
10							120
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 テキスト、洋裁用具、定規、レジメ、ボディ、原型等</p>							
<p>【実務経験】 ブライダル事業において実務経験有 オーダーメイドのウエディングや衣装ドレスの実務経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	被服構成基礎Ⅰ-B	学年	Ⅰ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	赤間 なぎさ
<p>【授業概要・目標】 縫製技術の基礎となるテクニックである基本的な縫い方や部分的な縫製方法を学び、それぞれのテクニックを正確に習得することを目標とする。</p>							
<p>【評価方法】 出席状況、提出物の出来栄にて評価。</p>							
	指導内容						時間
1	運針						
2	しつけ						
3	印付け						
4	縫い代の始末（手縫い、ミシン縫い）						
5	まつり						
6	千鳥かがり						
7	止縫い						
8	ボタン穴・穴かがり						
9	ボタン・スナップ・ホックの付け方						
10	ループ						
11	ミシン縫い						
12	折り代の始末						
13	縁とり						
14	各ファスナーの部分縫い						
15							60
<p>【使用教材】 テキスト、洋裁用具、定規、レジメ、糸、シーチング、ボタン、スナップ等</p>							
<p>【実務経験】 ブライダル事業において実務経験有 オーダーメイドのウエディングや衣装ドレスの実務経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	創作作品Ⅰ-B	学年	Ⅰ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	赤間 なぎさ
<p>【授業概要・目標】 デザイン、素材選び、縫製工程から完成までを自分自身で考え、指定されたアイテムを今まで学んだ知識と技術を基に各自の力で製作することを目的とする。</p>							
<p>【評価方法】 提出物のデザイン性や縫製を含めた作品の出来栄にて評価。</p>							
	指導内容						時間
1	自由製作						
2							30
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 テキスト、洋裁用具、定規、ボディ等</p>							
<p>【実務経験】 ブライダル事業において実務経験有 オーダーメイドのウエディングや衣装ドレスの実務経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	カジュアルウェアB	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	赤間 なぎさ
<p>【授業概要・目標】 服飾造形における基礎知識と製造の流れについて理解を深め、製作実習を通して服の構造やダーツの必要性などを理解し、平面的な布を立体的な体に合わせながら製作するための縫製技術を身に付けることを目標とする。</p>							
<p>【評価方法】 出席状況、提出物の出来栄えにて評価。</p>							
	指導内容						時間
1	セミタイトスカート（一重仕立て）						
2	シャツ						
3	パンツ						
4	ジャケット（一重仕立て）						
5	ベスト						
6							300
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 テキスト、洋裁用具、定規、レジメ、ボディ等</p>							
<p>【実務経験】 ブライダル事業において実務経験有 オーダーメイドのウエディングや衣装ドレスの実務経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	立体裁断1-A	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐々木 司
<p>【授業概要・目標】 アパレル産業の生産プロセスにおいて、パタンナーが使用する技術である立体裁断を指導する。授業に於いては、デモンストレーションの確認～学生それぞれの実習を繰り返しながら行い、身体と感覚で技術を習得していくよう指導する。</p>							
<p>【評価方法】 トワルピン仕上げをボディに着せ付けて提出。デザイン画通りに表現できているかを考慮しながら、以下の観点について点数評価する。 《フォルム（水平、垂直、構造線の位置）・シルエット・ゆとりの分量・量感のバランス・布目の流れ・地直し。ピンの打ち方・出欠状況》</p>							
	指導内容						時間
1	立体裁断概論						
2	タイトスカート						
3	フレアスカート						
4	見頃原型（袖付き）						
5	ヨーク切り替えのヒップボーンスカート						
6	タックインブラウス						
7							60
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 テキスト（文化ファッション大系 アパレル生産講座③） ボディ・シーチング・シルクピン・裁断ばさみ・定規</p>							
<p>【実務経験】 株式会社ワールドにてパタンナーの経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	修了作品	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	赤間 なぎさ	
<p>【授業概要・目標】 一年次に学んだ技術を駆使し、ワンピース製作における基礎知識と縫製工程についての知識と技術を身に付け、デザインから素材選びを各自で行いながら一年間の集大成とした作品を完成させることを目標とする。</p>								
<p>【評価方法】 出席状況、提出物の出来栄にて評価。</p>								
		指導内容						時間
1	ワンピース							
2							60	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
<p>【使用教材】 テキスト、洋裁用具、定規、ボディ等</p>								
<p>【実務経験】 ブライダル事業において実務経験有 オーダーメイドのウエディングや衣装ドレスの実務経験有</p>								

教育指導要綱

2026年度

科目	デザイン画 I	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	久道 優子
<p>【授業概要・目標】 服作りの基本である製図を理解することを基本とし、製図を見て着装画が描けるように学ぶ。 ①人体プロポーションの正確な理解②デザインをより良く見せるポーズ研究 ③画材使用による表現④各アイテムの描き方及びハンガーイラストの描き方の理解</p>							
<p>【評価方法】 練習は検印 コンテスト作品、デザイン発想、研究作品は点数評価 期限後の提出・欠席は減点とする</p>							
	指導内容						時間
1	8頭身・顔の描き方						
2	プロポーション・ヘアの描き方						
3	スカートの種類						
4	スカートの着装と彩色						
5	JFAファーデザインコンクール						
6	連鎖校デザイン画コンテスト						
7	シャツ・ブラウス						
8	パンツの種類と着装						
9	ジャケット						
10	ザッカコンテスト						
11	全国服飾学校デザイン画コンクール						
12	ワンピース						
13	デザイン発想						
14							
15							228
<p>【使用教材】 教科書、作成プリント、色鉛筆、パステル、絵の具</p>							
<p>【実務経験】</p>							

科目	色彩学 I	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	相田 志
<p>【授業概要・目標】色彩の知識が、モノづくりの原点にあることをを理論的に学ぶ。色名の由来や意味を理解することで色彩に対する興味関心を高める。またファッションだけでなくライフスタイル全般におけるカラーコーディネーションの知識を身につける。オリジナルテキスト「色彩の基本」を併用することで、楽しみながら色彩の知識を身につけ、検定合格を目指す。</p>							
<p>【評価方法】出席点、授業態度、カラーカード課題提出、色彩検定3級合格</p>							
	指導内容						時間
1	色彩学入門。色の重要性について						1
2	色はなぜ見えるのか。科学的・化学的な基礎を学ぶ。						1
3	混色の理論。加法混色と減法混色						1
4	色相・明度・彩度と色相環、トーン表。						1
5	色の心理的効果・色のイメージによる印象						1
6	色の視覚効果・対比と同化における配色の基礎						1
7	キーワードごとの配色イメージ						1
8	ファッション色彩						1
9	インテリアの色彩						1
10	過去問題対策						4
11	質疑応答と個別対応						1
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】aft色彩検定3級公式テキスト・199b配色カード・過去問題・色彩の基本(コピー)</p>							
<p>【実務経験株式会社オンワード樫山(現オンワードホールディングス)にて営業として入社。バイイング、MD、店舗運営、販売スタッフ育成に携わる。ジャンポールゴルチエ、ドルチェ&ガッバーナ、ポールスミスなどインポートブランドを担当。SCにおけるファミリーブランドanyFAMIにてVMDを担当。現在は、SC及びアパレルメーカーのコンサルティング、研修教育、専門学校講師、パーソナルカラーリスト・診断士。</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	アパレル繊維論 I	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐藤 とみ子
<p>【授業概要・目標】 「素材の種類と分類」を理解し、その上でアパレルとしての素材（繊維中心）を天然繊維から化学繊維、無機繊維の順を追って学んでもらう。その基本の繊維を学習した上で併せて、化学繊維の改良と加工、新しい繊維など、また限りある資源の有効活用、環境保全の点から繊維のリサイクルも学んでいく。常に消費者ニーズに答えられる、又対応できる繊維の知識と、快適で豊かな衣生活の為に必要な素材、ファッショントレンドの素材（テキスタイル）知識を学習できるよう指導していく。まとめとして学んだ繊維の取り扱い、素材の管理も含めて幅広く学習できるよう、授業を進めていく。</p>							
<p>【評価方法】 各学期ごとに出席日数と授業時に採ったノートを合わせて評価の対象とする。 最終学期においては、筆記試験を行い、それを評価の対象とする。</p>							
	指導内容						時間
1	繊維とは、繊維の分類						
2	繊維の性質、天然繊維（植物繊維）、綿						
3	天然繊維（植物繊維）麻						
4	天然繊維（動物繊維）毛、羊毛、羊毛以外の獣毛						
5	天然繊維（動物繊維）絹、家蚕絹、野蚕絹						
6	化学繊維 再生繊維レーヨン、ポリノジック、キュプラ、リヨセル						
7	化学繊維 半合成繊維アセテート、トリアセテート						
8	化学繊維 合成繊維ナイロン、ポリエステル						
9	アクリル、ポリウレタン、ビニロン、ポリプロピレン、ポリ乳酸						
10	化学繊維の改良と加工 複合繊維、異形断面、中空、異形中空繊維、超極細繊維						
11	「アパレル素材」学年末テスト						
12	学期末テストの返却解説、『新しい繊維』について						33
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 「アパレル素材論」服飾関連専門講座①（文化服装学院編）</p>							
<p>【実務経験】 繊維製品品質管理士</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	西洋史	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐藤 知美
【授業概要・目標】 ファッションの変遷から時代や社会などの変化を読み取っていく。過去と現代のファッションとの関わりを見出し、多様な美の価値観を捉える。							
【評価方法】 課題、出席日数、授業態度							
	指導内容						時間
1	西洋史：古代の服装、髪型、化粧						
2	西洋史：中世の服装、髪型、化粧						
3	西洋史：16～18世紀の服装、髪型、化粧						
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 テキスト：文化論							
【実務経験】 グラフィックデザイン、高等学校美術教員、 仙台ヘアメイク専門学校教員（色彩・デザイン・文化論）							

教育指導要綱

2026年度

科目	ファッション概論	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	飯岡 智
【授業概要・目標】 ファッションに関する全体像とファッション商品企画に至る仕事を理解することとする。							
【評価方法】 レポート提出							
	指導内容						時間
1	社会とファッション 感性を豊かに						
2	ファッション概論 I についての知識 日本ビジネス社会の移り変わり						
3	ファッションの歴史とファッションの変遷						
4	乱気流を乗り切るファッション産業の強化点						
5	ファッショントレンド・インターネットによる通販の仕組み						
6	アパレルビジネスの商品企画から生産販売まで						
7	ストリートファッション定点観測						
8	アパレルマーケティング						
9	ブランドポジショニング						
10	ファッション用語解説						
11							15
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 テキスト、レジメ							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	デザイン概要・実習 I	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	久道 優子
【授業概要・目標】 デザイン概論の基礎と構成を学び、インスピレーションをデザイン画に落とし込む技法などを学ぶ。							
【評価方法】 作品、レポート評価							
	指導内容						時間
1	平面デザイン構成と演習 応用						
2	視覚、嗅覚、聴覚、味覚、触感と印象						
3	ターゲットを読む、ターゲットストーリー						
4	モチーフからの発想のバリエーション、実習、 紋とリサーチ						
5	ガーメントデザイン、ディテールとデザイン、実習						
6	布を使ったデザイン構成、実習と作品提出						
7							
8							
9							
10							20
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 筆記用具、彩色用具、ケント紙、シーチング、裁断バサミ、シルクピン、ボディー等							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	美術史	学年	1年	学科	ファッションデザイン科	担当教員	富谷 信子
<p>【授業概要・目標】 デザイナーはアートから常に大きな影響を受けている。例えばヴィヴィアン・ウエストウッド、西洋美術史の知識をふんだんに取り込んだデザインは有名。デザイナーが好んだアーティストを中心に作品を解説し、デザインのアイデアソースになるよう指導していく。</p>							
<p>【評価方法】 出席日数と提出作品で総合的に評価</p>							
	指導内容						コマ数
1	オリエンテーション クリスチャン・ディオールとアート						
2	美術館 作品予習と解説						
3	美術館鑑賞						
4	イヴ・サンローランとアート						
5	美術館鑑賞						
6	実習 作品をデザイン画に落としこむ 1						
7	シャネルとアート						
8	現代のデザイナーとアート						
9	まとめ 作品をデザイン画に落としこむ 2						
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 デザイン画作成用画材 ケント紙</p>							
<p>【実務経験】 西洋服装史、デザイン画等長年にわたり講師としての実務経験あり</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業Ⅰ(レザー)	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	木戸 宗
【授業概要・目標】 手縫いでレザー作品を制作する。ミシンとは違う縫い方を学び、今後の作品制作に生かせるよう知識を深める。							
【評価方法】 作品、出席状況							
	指導内容						時間
1	道具の説明、ナイフの使い方						
2	基本的な縫い方						
3	作品制作						
4							30
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業 I (PM対策)	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐々木 司
【授業概要・目標】 作図・ファーストパターン・トワルトレース・裁断・ピン組み立て、すべての工程においてデモンストレーションの確認～実習を繰り返し行い、合格できる技術を身につける							
【評価方法】 出席状況、授業態度、模擬テストの出来栄えにより、点数強化する							
	指導内容						時間
1	パターンメイキング技術検定 2 級概論						
2	プリンセスラインJK 作図						
3	" ファーストパターン						
4	ダブルブレストJK 作図						
5	" ファーストパターン						
6	プリンセスラインJK トワル、トレース、裁断						
7	" トワル、ピン組み立て						
8	ダブルブレストJK トワル、トレース、裁断						
9	" トワル、ピン組み立て						
10	模擬テスト(1型)～まとめ						
11							30
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 PM検定 2 級テキスト、平面作図用具、立体裁断用具							
【実務経験】 株式会社ワールドにてパタンナーの経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業Ⅰ(手編み)	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	鹿野 陽子
【授業概要・目標】 棒編みの方法を学び、作品を制作する。							
【評価方法】 提出物							
	指導内容						時間
1	棒編みの種類、棒編みの使い方						
2	作品制作						
3							30
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】 ニット工人館KANO代表、日本編物検定協会宮城県支部長、日本アートクラフト協会理事							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業Ⅰ(レザー)	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	木戸 宗
【授業概要・目標】 手縫いでレザー作品を制作する。ミシンとは違う縫い方を学び、今後の作品制作に生かせるよう知識を深める。							
【評価方法】 作品、出席状況							
	指導内容						時間
1	道具の説明、ナイフの使い方						
2	基本的な縫い方						
3	作品制作						
4							30
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業 I (PM対策)	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐々木 司
【授業概要・目標】 作図・ファーストパターン・トワルトレース・裁断・ピン組み立て、すべての工程においてデモンストレーションの確認～実習を繰り返し行い、合格できる技術を身につける							
【評価方法】 出席状況、授業態度、模擬テストの出来栄えにより、点数強化する							
	指導内容						時間
1	パターンメイキング技術検定3級概論						
2	デザインブラウス① 作図						
3	" ファーストパターン						
4	デザインブラウス② 作図						
5	" ファーストパターン						
6	デザインブラウス① トワル、トレース、裁断						
7	" トワル、ピン組み立て						
8	デザインブラウス② トワル、トレース、裁断						
9	" トワル、ピン組み立て						
10	模擬テスト(1型)～まとめ						
11							30
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 PM検定3級テキスト、平面作図用具、立体裁断用具							
【実務経験】 株式会社ワールドにてパタンナーの経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業Ⅰ(手編み)	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	鹿野 陽子
【授業概要・目標】 棒編みの方法を学び、作品を制作する。							
【評価方法】 提出物							
	指導内容						時間
1	棒編みの種類、棒編みの使い方						
2	作品制作						
3							30
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】 ニット工人館KANO代表、日本編物検定協会宮城県支部長、日本アートクラフト協会理事							

教育指導要綱

2026年度

科目	一般教養 I	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	飯岡 智 飯岡 昌司
<p>【授業概要・目標】 日本人として必要なマナーや礼儀作法の知識を実技を交えながら身に付け、面接や接客における対応力を身に付ける事を目標とする。</p>							
<p>【評価方法】 出席状況、授業態度を考慮に評価。</p>							
	指導内容						時間
1	ビジネスマナー						
2	冠婚葬祭マナー						
3	テーブルマナー						
4	プロトコール						
5	パソコンの基本操作						
6	履歴書の書き方						
7	面接における注意事項						
8	模擬面接						
9							15
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 テキスト、レジメ、履歴書</p>							
<p>【実務経験】 小笠原流礼法師範として実務経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	イベント企画Ⅰ	学年	I	学科	ファッションデザイン科	担当教員	赤間 なぎさ
<p>【授業概要・目標】 オープンキャンパスやファッションショー等の企画から開催までの一連の流れを通して、イベントを挙げるためのプロセスを学び、実際に学生達で企画、実行することを目的とする。また、ファッションショーを通して、演出、モデル、音響、照明、衣装管理としての仕事内容も学びながら経験を積ませる。</p>							
<p>【評価方法】 企画から開催までの出席状況や授業態度、イベントや各自の担当役割に対して意欲的に取り組む姿勢等から総合的に評価。</p>							
	指導内容						時間
1	オープンキャンパス						
2	ファッションショーの構成						
3	舞台設営						
4	ウォーキング練習・早着替え練習						
5	衣装管理と手直し						
6	リハーサル						
7	本番						
8							15
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 衣装、靴、アクセサリ、小物等</p>							
<p>【実務経験】 ブライダル事業において実務経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	被服構成理論Ⅱ-B	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	柳原 嘉子 伊藤 香菜子
【授業概要・目標】 実例を用いて講義を行い、実習にて理解を深め、自分自身で対応できるようになれるよう学ぶ。							
【評価方法】 通年を通して、服飾造形の作品・理解度をもとに評価							
	指導内容						時間
1	パターンメイキング						
2							30
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 服飾造形講座 各種							
【実務経験】 ファッション業界にて3年以上実務経験あり							

教育指導要綱

2026年度

科目	被服構成基礎Ⅱ-B	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	柳原 嘉子 伊藤 香菜子
【授業概要・目標】 講義と実例を用いて、演習実習にて服飾造形の基礎を学ぶ。							
【評価方法】 年間を通して、服飾造形の技術、作品、理解度をもとに評価							
	指導内容						時間
1	ラグランスリーブ作品						
2	子供服						
3							174
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 服飾造形講座「コート・ケープ」「子供服」							
【実務経験】 ファッション業界にて3年以上実務経験あり							

教育指導要綱

2026年度

科目	被服構成応用 I	学年	II	学科	ファッションデザイン科	担当教員	柳原 嘉子 伊藤 香菜子
【授業概要・目標】 1年次とは異なる縫製方法を学び、総裏ジャケットの縫製を学ぶ。							
【評価方法】 作品、レポート							
	指導内容						時間
1	ジャケット						
2							90
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 服飾造形講座「ジャケット・ベスト」等							
【実務経験】 ファッション業界にて3年以上実務経験あり							

教育指導要綱

2026年度

科目	創作作品Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	柳原 嘉子 伊藤 香菜子
<p>【授業概要・目標】 テーマを与えてそれに沿った服作り行う。プレゼンテーションまで行い、第三者に内容が明確に伝達できるよう学ぶ。</p>							
<p>【評価方法】 作品、ポートフォリオ、プレゼンテーション</p>							
	指導内容						時間
1	造形表現						
2	総合造形プレゼンテーション						
3							120
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 服飾造形講座 各種</p>							
<p>【実務経験】 ファッション業界にて3年以上実務経験あり</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	立体裁断Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐々木 司
<p>【授業概要・目標】 アパレル産業の生産プロセスにおいて、パタンナーが使用する技術である立体裁断を指導する。立体裁断とは、「目的とする服に仕上げるために美しいフォルムを持ち、着心地のよい機能性の伴うパターンを、視覚と触覚により立体的に作りだしていく高度な技術」である。これを学ぶことにより、人体の構造もより深く理解することができる。授業に於いては、デモンストレーションの確認～学資それぞれの実習を、繰り返しながら行ない、身体と感覚で技術を習得していくよう指導する。</p>							
<p>【評価方法】 トワルピン仕上げをボディに着せ付けて提出、デザイン画通りに表現できているかを配慮しながら、下記の観点について点数評価する。《フォルム(水平、垂直、構造線の位置)・シルエット・ゆとり分量・量感のバランス・布目の流れ・地直し・ピンの打ち方・出席状況》</p>							
	指導内容						時間
1	カシュクールブラウス						
2	ピンタックシャツ						
3	ボックスジャケット						
4							30
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 ボディ・シーチング・シルクピン・裁断ばさみ・定規</p>							
<p>【実務経験】 株式会社ワールドにてパタンナーの経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	卒業作品Ⅰ-B	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	柳原 嘉子 伊藤 香菜子
<p>【授業概要・目標】 2年間学んできたことを生かし、卒業課題としてテーマに沿った洋服の制作を行う。また自分の考えを他者にわかりやすく伝達できるようなポートフォリオをまとめ、プレゼンテーションまで行う</p>							
<p>【評価方法】 作品、ポートフォリオ、プレゼンテーション</p>							
	指導内容						時間
1	卒業作品制作						
2							208
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 服飾造形講座 各種</p>							
<p>【実務経験】 ファッション業界にて3年以上実務経験あり</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	デザイン画Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	久道 優子
<p>【授業概要・目標】 服づくりの基礎である製図を理解し、製図をみて着装画、ハンガーイラストが描けるように学ぶ。縫製技術が身に着けた為、コンテストに参加し、どのような手順でまとめていくか彩色を加え一連の作業を体験する。</p>							
<p>【評価方法】 課題を点数評価。期限後の提出、欠席は減点とする。</p>							
	指導内容						時間
1	YKKファスニングアワードコンテスト						
2	スーツの形態						
3	スーツ用途別						
4	スーツ5体着装 柄の模写						
5	スーツ デザイナーズブランド作品模写とハンガーイラスト						
6	JFA ファーデザインコンテスト 作品ドローイング						
7	JFA ファーデザインコンテスト作品						
8	ザッカコンテスト						
9	メンズ プロポーションと着装						
10	コート の種類と着装						
11	コート ラグランコート 製図からハンガーイラストと着装						
12	皮革 製作皮革作品まとめ						
13	全国服飾学校デザイン画コンクール						
14	ポートフォリオ 説明						
15	ポートフォリオ 製作						
16	卒業制作B3ボード						166
<p>【使用教材】 作成プリント、色鉛筆、コピック、パステル、教科書</p>							
<p>【実務経験】</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	色彩学Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	相田 志
<p>【授業概要・目標】マンセル表色系を中心に実務における色彩について学ぶ。配色技法が与える印象や効果を理論的に理解する。イメージ別配色法を学ぶことで多色配色におけるイメージの作り方を理解する。ビジュアルデザインの基礎を理解し、ウェブデザインやメディアデザインにおける効果的な配色を学ぶ。検定合格は必須だが、カラーの知識を理解しトレンド情報を知ることで実践における知識を身につける。</p>							
<p>【評価方法】出席点、授業態度、カラーカード課題提出、色彩検定2級取得</p>							
	指導内容						時間
1	色のユニバーサルデザインについて						1
2	マンセル表色系						1
3	色の視覚効果と心理効果						1
4	色彩調和、配色技法						1
5	イメージ別配色技法、キーワードと色相・トーン						1
6	ビジュアルデザイン・メディアデザインの色彩						1
7	ファッション色彩と配色						1
8	住空間のインテリアカラーコーディネート						1
9	景観色彩、景観色彩設計						1
10	過去問対策とポイント解説						4
11	質疑応答と個別対応						1
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】aft色彩検定2級公式テキスト・199b配色カード。</p>							
<p>【実務経験】株式会社オンワード樫山(現オンワードホールディングス)にて営業として入社。バイイング、MD、店舗運営、販売スタッフ育成に携わる。ジャンポールゴルチエ、ドルチェ&ガッバーナ、ポールスミスなどインポートブランドを担当。SCにおけるファミリーブランドanyFAMIにてVMDを担当。現在は、SC及びアパレルメーカーのコンサルティング、研修教育、専門学校講師、パーソナルカラーリスト・診断士。</p>							

科目	アパレル繊維論Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐藤 とみ子
<p>【授業概要・目標】 服づくりにあたって大事なことは、良い素材に出会うことでしょう。その素材を知る上でも、織物の本質である糸について、布地（織物・ニット）の種類について、仕上げ加工について最低限の知識を持つことだと思います。「テキスタイルハンドブック」と併用しながら、また素材のサンプルに触れながら学習を進めていきます。巻末に於いての「その他アパレル素材」、（副資材も含めて）アパレル製品を構成するには大事な要素の一つなので、この分野も触れていきたいと思っています。テキスト外になりますが、テキスタイル産業に書くことのできない「染色」の知識にも理解を深めてもらえるようなカリキュラムを組んでいきたいと思っています。</p>							
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期：出席日数とノート提出を成績の対象とする。 ・後期：出席日数と学年末に実施する筆記試験との合計を年間評価の対象とする。 							
	指導内容						時間
1	裏地、羽毛、新しい素材(神、PTT、クモ糸繊維)						
2	糸 ①糸のできるまで～紡績糸(ステイプル)とフィラメント糸の種類						
3	糸の構造(糸の撚り、糸の撚り数)、糸の太さ						
4	糸 ②その他～加工糸、複合糸、飾り糸、縫い糸						
5	布地 ①布地②織物～織物の歴史と発達、織物の製造、織物の見分け方、織物の規格						
6	織物の組織(色紙を使用:織物を織る実習)、主な組織の構造と特徴(三原組織、重ね、添毛、紋組織)						
7	品質論:品質表示の成り立ち、繊維製品の品質表示と関連する法、品質表示の内容、等						
8	品質論:家庭洗濯等の取扱い方法、撥水性、表示者名および連絡先						
9	主な組織の構成と特長、一重組織(平織、斜文織、朱子織)、重ね組織、パイル組織 等						
10	布地 ③ニット～ニットの性質、分類、ニット機械による分類、横編機、縦編機						
11	布地の仕上げ加工～繊維別仕上げ加工、目的別仕上げ加工の種類						
12	外観、風合いの変化、特殊な性質、新たな素材、加工						
13	学年末テスト						
14	学年末テストの返却・解説、品質論、アパレルの保証とクレーム						
15							48
<p>【使用教材】 アパレル素材論、アパレル品質論テキスト(文化服装学院編)</p>							
<p>【実務経験】 繊維製品品質管理士</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	西洋史Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐藤 知美
【授業概要・目標】 ファッションの変遷から時代や社会などの変化を読み取っていく。日本とヨーロッパ、過去と現代のファッションとの関わりを見出し、多様な美の価値観を理解する。							
【評価方法】 課題、出席日数、授業態度							
	指導内容						時間
1	日本のファッション史：古代～江戸時代の服装、髪型、化粧						
2	日本のファッション史：明治時代以降の服装、髪型、化粧						
3	西洋のファッション史：19～20世紀の服装、髪型、化粧						
4	日本と西洋のファッション史比較						
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 テキスト：文化論							
【実務経験】 グラフィックデザイン、高等学校美術教員、 仙台ヘアメイク専門学校教員（色彩・デザイン・文化論）							

教育指導要綱

2026年度

科目	ヴィジュアルプレゼンテーションⅡ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	柳原 嘉子 伊藤 香菜子
【授業概要・目標】 プレゼンテーション資料の制作、発表を行う。自分の考えをどのように伝えるか、資料を作るかを学ぶ、							
【評価方法】 制作された資料、発表							
	指導内容						時間
1	プレゼンテーション資料制作・発表①						
2	" ②						
3	" ③						
4							
5							
6							15
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント、パソコン							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	デザイン概要・実習Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	デザイン科	担当教員	久道 優子
【授業概要・目標】 デザイン概論の基礎と構成を学び、インスピレーションを立体デザインにする、技法を学びます。							
【評価方法】 作品、レポートにて評価							
	指導内容						時間
1	立体デザイン構成と演習						
2	布による立体デザイン構成						
3	布による立体デザイン構成						
4	布による立体デザイン構成						
5							
6							
7							
8							
9							
10							15
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 シーティング							
【実務経験】 デンマーク・フィンランド・パリ・ドイツ等において自社にてパタンナー、デザイナー等の実務経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業Ⅱ(レザー)	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	木戸 宗
【授業概要・目標】 手縫いでレザー作品を制作する。ミシンとは違う縫い方を学び、今後の作品制作に生かせるよう知識を深める。							
【評価方法】 作品、出席状況							
	指導内容						時間
1	道具の説明、ナイフの使い方						
2	基本的な縫い方						
3	作品制作						
4							30
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業Ⅱ (PM対策)	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐々木 司
【授業概要・目標】 作図・ファーストパターン・トワルトレース・裁断・ピン組み立て、すべての工程においてデモンストレーションの確認～実習を繰り返し行い、合格できる技術を身につける							
【評価方法】 出席状況、授業態度、模擬テストの出来栄えにより、点数強化する							
	指導内容						時間
1	パターンメイキング技術検定2級概論						
2	プリンセスラインJK 作図						
3	" ファーストパターン						
4	ダブルブレストJK 作図						
5	" ファーストパターン						
6	プリンセスラインJK トワル、トレース、裁断						
7	" トワル、ピン組み立て						
8	ダブルブレストJK トワル、トレース、裁断						
9	" トワル、ピン組み立て						
10	模擬テスト(1型)～まとめ						
11							30
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 PM検定2級テキスト、平面作図用具、立体裁断用具							
【実務経験】 株式会社ワールドにてパタンナーの経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業Ⅱ(手編み)	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	鹿野 陽子
【授業概要・目標】 棒編みの方法を学び、作品を制作する。							
【評価方法】 提出物							
	指導内容						時間
1	棒編みの種類、棒編みの使い方						
2	作品制作						
3							30
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】 ニット工人館KANO代表、日本編物検定協会宮城県支部長、日本アートクラフト協会理事							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業Ⅱ(レザー)	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	木戸 宗
【授業概要・目標】 手縫いでレザー作品を制作する。ミシンとは違う縫い方を学び、今後の作品制作に生かせるよう知識を深める。							
【評価方法】 作品、出席状況							
	指導内容						時間
1	道具の説明、ナイフの使い方						
2	基本的な縫い方						
3	作品制作						
4							30
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業Ⅱ (PM対策)	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	佐々木 司
【授業概要・目標】 作図・ファーストパターン・トワルトレース・裁断・ピン組み立て、すべての工程においてデモンストレーションの確認～実習を繰り返し行い、合格できる技術を身につける							
【評価方法】 出席状況、授業態度、模擬テストの出来栄えにより、点数強化する							
	指導内容						時間
1	パターンメイキング技術検定3級概論						
2	デザインブラウス① 作図						
3	" ファーストパターン						
4	デザインブラウス② 作図						
5	" ファーストパターン						
6	デザインブラウス① トワル、トレース、裁断						
7	" トワル、ピン組み立て						
8	デザインブラウス② トワル、トレース、裁断						
9	" トワル、ピン組み立て						
10	模擬テスト(1型)～まとめ						
11							30
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 PM検定3級テキスト、平面作図用具、立体裁断用具							
【実務経験】 株式会社ワールドにてパタンナーの経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業Ⅱ(手編み)	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	鹿野 陽子
【授業概要・目標】 棒編みの方法を学び、作品を制作する。							
【評価方法】 提出物							
	指導内容						時間
1	棒編みの種類、棒編みの使い方						
2	作品制作						
3							30
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】 ニット工人館KANO代表、日本編物検定協会宮城県支部長、日本アートクラフト協会理事							

教育指導要綱

2026年度

科目	一般教養Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	飯岡 智 飯岡 昌司
【授業概要・目標】 社会人になってから必要とされる内容の習得をする。							
【評価方法】 出席点、または課題提出による評価。							
	指導内容						時間
1	小論文						
2	礼法						
3	パソコンの使い方応用						
4							15
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】 小笠原流礼法師範として実務経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	イベント企画Ⅱ	学年	Ⅱ	学科	ファッションデザイン科	担当教員	柳原 嘉子 伊藤 香菜子
<p>【授業概要・目標】 オープンキャンパス、外部からの依頼のファッションショーや文化祭での展示等を企画、開催し、それをとおして、協調性やグループワークの向上を図る。</p>							
<p>【評価方法】 企画から当日までの動き。担当の係りの仕事の取組みをみて評価。</p>							
	指導内容						時間
1	オープンキャンパスにてプレゼンテーションする計画・準備						
2	文化祭展示企画準備						
3	外部依頼の企画・準備						
4							45
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 パソコン、液晶プロジェクター</p>							
<p>【実務経験】 ファッション業界にて3年以上実務経験あり</p>							